

平成28年度 東邦銀行の決算概要



すべてを地域のために

東邦銀行

I. 福島県の現状～復興から成長へ～

- 1. 福島県の現状 ……………2
- 2. 震災からの復興状況……………3
- 3-1. 成長に向けた歩み【風評払拭・交流】…4
- 3-2・3. 成長に向けた歩み【産業振興】…5～6
- 3-4. 成長に向けた歩み【産業の集積状況】…7

II. 平成28年度決算の概要

- 1. 平成28年度決算の概要……………9
- 2. 業容関連
 - (1) 預かり資産の状況 ……………10
 - (2) 貸出金の状況 ……………11
- 3. 収益関連
 - (1) 資金利益の状況 ……………12
 - (2) 役務取引等収益(手数料収入)の状況…13
- 4. 経営体質
 - (1) 貸出資産の質 ……………14
 - (2) 経営の健全性 ……………15
- 5. 配当金・株主さまご優待制度 ……………16

III. 東邦銀行の取組み

- 1. ふくしまの“復興から成長”への貢献
 - 中期経営計画の進捗状況 ……………18
 - (1) 地域の創生・発展への積極的な参画 ……………19
 - (2) お取引先の販路拡大支援 ……………20
 - (3) 多様な資金ニーズへの対応と
海外マーケットへの進出支援 ……………21
 - (4) 経営課題提案型営業・事業再生支援等の取組み…22
- 2. お客さまから選ばれる銀行づくり
 - (1) 個人のお客さまサポートのための取組み ……23
 - (2) 資産運用のお手伝い ……………24
 - (3) 個人のお客さま向けローンの取組み ……………25
 - (4) 店舗・チャネル戦略 ……………26
- 3. 持続可能な企業体質の確立
 - (1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取組み ……27
 - (2) 人材育成への取組み ……………28
 - (3) 多様な働き方の推進と働き方改革……………29
 - (4) 活発なクラブ活動 ……………30
 - (5) 障がい者が働きやすい職場づくり ……………31
 - (6) CSRの取組み ……………32～33
- 4. 創立75周年記念式典 ……………34～35

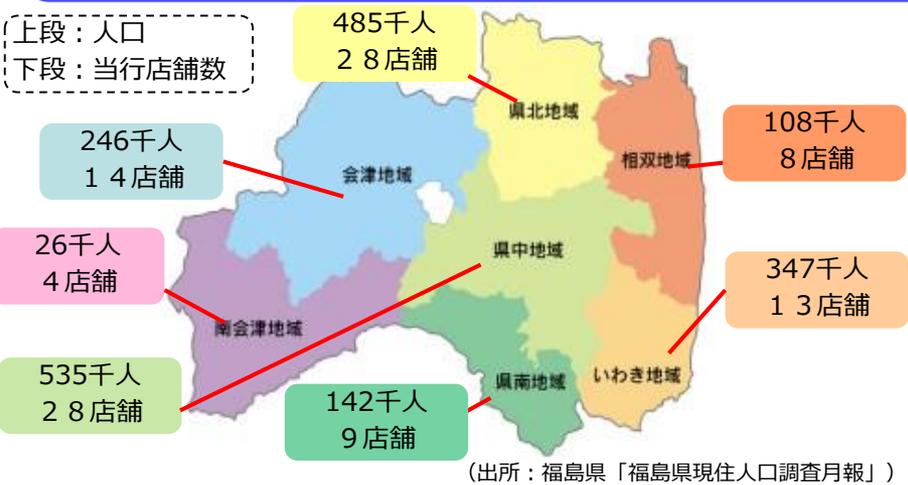
I. 福島県の現状 ～復興から成長へ～

1. 福島県の現状

福島県の概況

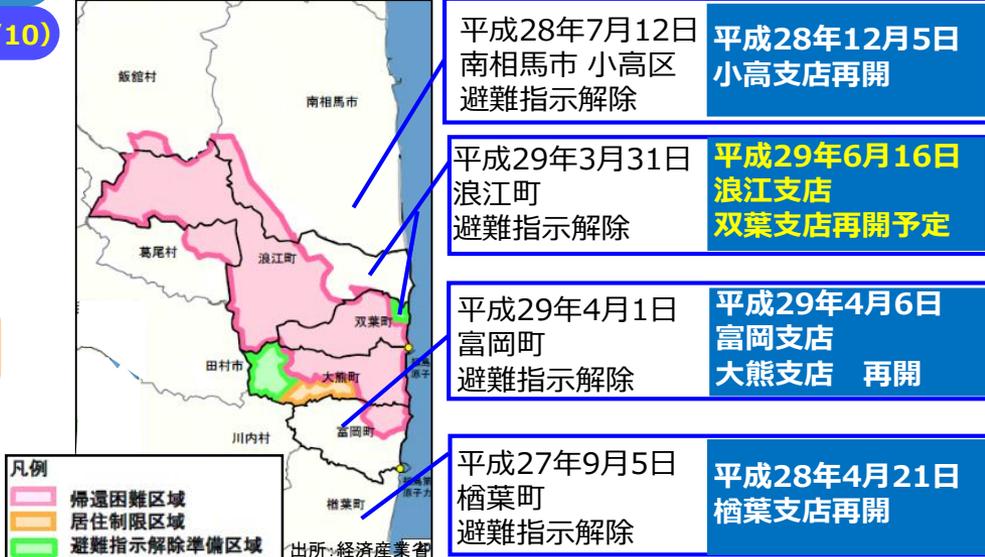
- ◆人口約189万人<H29.3.1現在> (ピーク時213万人：H10/1)
- ◆県内59市町村 (13市、31町、15村) (ピーク時90市町村：H16/10)

上段：人口
下段：当行店舗数



当行の被災地域店舗の現状

◆震災後6年～臨時休業店舗6カ店全てが再開予定



交通インフラの復旧・整備状況

○東北中央自動車道

(相馬市～山形県～秋田県横手市、延長約268kmの高規格幹線道路)



○鉄道・高速道路



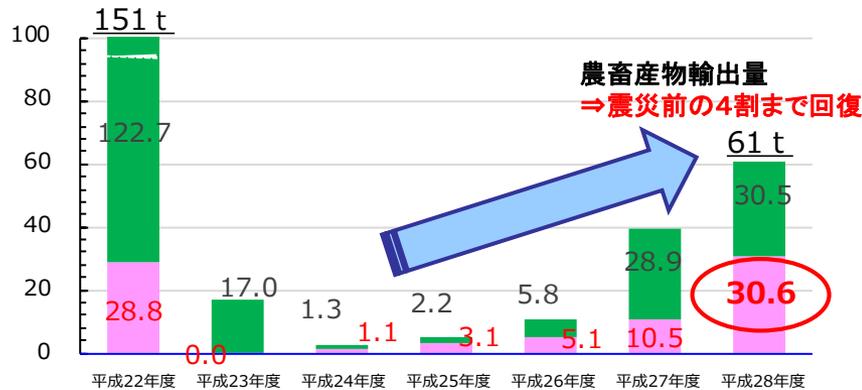
- ◆JR常磐線
⇒H31年度末までに全線開通見込
 - ・浪江～小高駅間 (H29.4.1運転再開)
 - ・竜田～富岡駅間 (H29.10運転再開見込)
 - ・富岡～浪江駅間 (H31年度末までに運転再開見込)
- ◆常磐自動車道 (H27.3全線開通)
 - ・いわき中央IC～広野IC間4車線化 H32年度末

2. 震災からの復興状況

	震災前（平成22年度）	震災直後（平成23年度）	足元の状況
人口	○人口 202万人 （平成23年3月1日） ○合計特殊出生率 1.52	○人口 197万人 （平成24年3月1日） ○合計特殊出生率 1.48	○人口 189万人 （平成29年3月1日） ○合計特殊出生率 1.58 （平成27年）
経済	○県内総生産(名目) 6兆9,368億円 ○有効求人倍率 0.42倍 （全国平均 0.52倍）	○県内総生産(名目) 6兆2,467億円 ○有効求人倍率 0.59倍 （全国平均 0.65倍）	○県内総生産(名目) 7兆2,786億円 （平成27年度） ○有効求人倍率 1.42倍 （平成28年） （全国平均 1.36倍）
産業	○建設業 公共工事請負金額 1,847億円 新設住宅着工戸数 9,342戸	○建設業 公共工事請負金額 2,491億円 新設住宅着工戸数 7,826戸	○建設業 公共工事請負金額 8,612億円 （平成27年） 新設住宅着工戸数 15,568戸 （平成27年）
業	○製造業 製造品出荷額等 5兆900億円 （東北1位）	○製造業 製造品出荷額等 4兆3,200億円 （東北1位）	○製造業 製造品出荷額等 5兆990億円 （平成26年） （東北1位）
	○農業 農業産出額 2,330億円 農畜産物輸出量 151トン	○農業 農業産出額 1,851億円 農畜産物輸出量 17トン	○農業 農業産出額 1,973億円 （平成27年） 農畜産物輸出量 61トン （平成28年度）

農畜産物輸出量推移

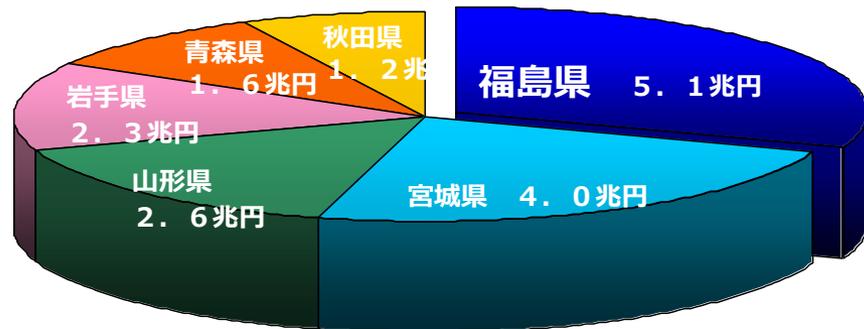
5年連続増加・モモの輸出は震災前を上回る水準



(単位: t) ■ モモ ■ その他

製造品出荷額等

3年連続増加・震災前水準まで回復
福島県は、東北1位の出荷額



(出所: 経済産業省「平成26年工業統計調査」)

3-1. 成長に向けた歩み【風評払拭・交流】

「酒どころ 福島」

全国新酒鑑評会 4年連続日本一！

金賞受賞数

平成24酒造年度 26銘柄
平成25酒造年度 17銘柄
平成26酒造年度 24銘柄
平成27酒造年度 18銘柄

【清酒製造企業数 全国4位】

清酒製造企業数		
順位	都道府県名	企業数
1	新潟	88
2	長野	76
3	兵庫	71
4	福島	64
5	福岡	57

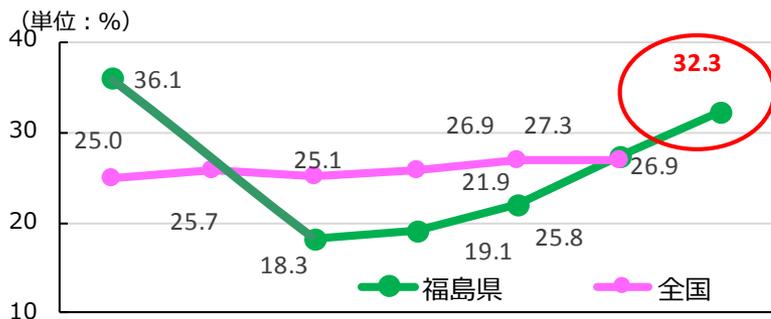
(出所：国税庁「清酒製造業の概況」
(平成28年度))



(出所：福島県)

地産地消による風評払拭

福島県学校給食の地場産物活用割合**30%超**に回復！



(出所：平成28年度 学校給食における地場産物の活用状況調査結果)

スポーツを通じた交流人口拡大

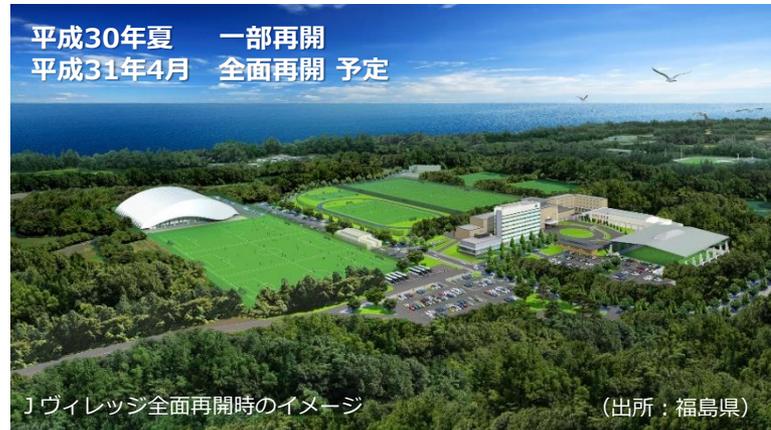
○Jヴィレッジの復活

平成31年4月の全面再開に向け再整備開始！

再整備へ向け県で寄付募集中…**当行グループで1億円寄付**

⇒2019年ラグビーW杯、2020年東京五輪の各国キャンプ等誘致へ

平成30年夏 一部再開
平成31年4月 全面再開 予定



Jヴィレッジ全面再開時のイメージ

(出所：福島県)

○2020年東京オリンピック・パラリンピック

県営あづま球場での野球・ソフトボール県内開催決定！！



県営あづま球場
(出所：福島県)

県内のホストタウン

登録市町村	相手国
福島市	スイス
郡山市	オランダ
会津若松市	タイ
いわき市	サモア
猪苗代町	カーナ

福島「復興の姿」を世界に発信！⇒交流人口の拡大へ

3-2. 成長に向けた歩み【産業振興①】

企業立地

○ふくしま産業復興企業立地補助金

【平成28年9月現在】

指定企業数 471社 採択金額 約1,989億円

➡ 5,923人の雇用創出見込み

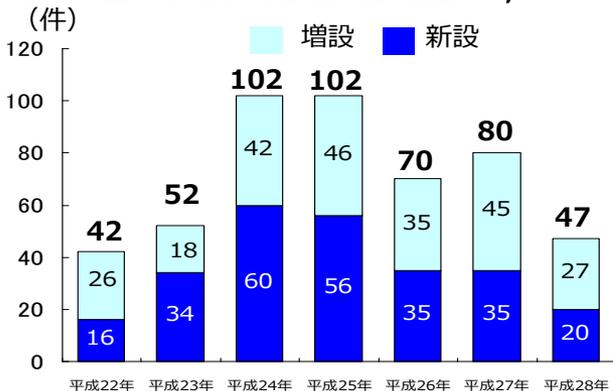
○津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金

【平成28年9月現在】

指定企業数 164社 採択金額 約811億円

➡ 2,134人の雇用創出見込み

○県内工場新增設の動き（敷地面積1,000㎡以上）



(出所：福島県)

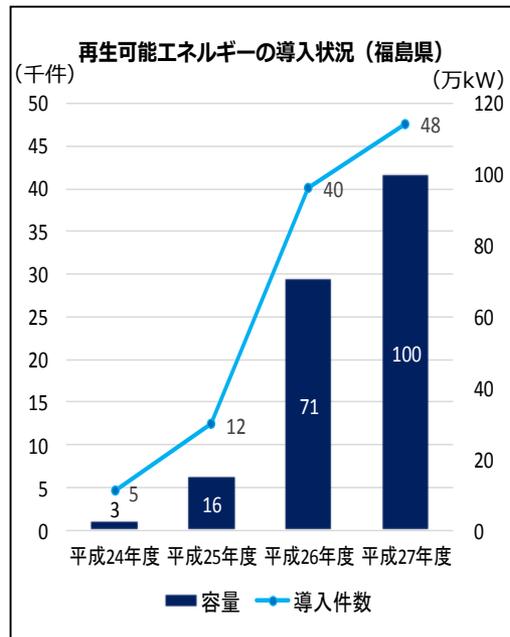
【福島県の工業】

項目	数値	東北順位	全国順位	調査年
事業所数	3,798事業所	1	19	H26
従業者数	152,768人	1	19	H26
製造品出荷額等	50,990億円	1	21	H26

出所：福島県HP、東北経済産業局「平成26年東北地域の工業（確報）」

再生可能エネルギー

《東北1位》の導入実績



東北各県の再生可能エネルギーの導入状況（H27年度）

県名	再エネ導入件数 (件)	再エネ導入容量 (kW)
福島	47,593	1,002,719
青森	10,611	718,724
秋田	6,453	412,523
岩手	24,622	427,059
宮城	48,937	597,375
山形	12,316	252,383

(出所：資源エネルギー庁「固定買取制度 情報公開用ウェブサイト」)



○メガソーラー発電所



○浮体式洋上風力発電設備「ふくしま未来」



○木質バイオマス発電所

3-3. 成長に向けた歩み【産業振興②】

イノベーションコースト構想

震災と原発事故による産業・雇用への打撃

廃炉・ロボット技術の研究開発・エネルギー関連産業の集積・農林水産業の再生 など

住民の帰還の促進と浜通りの再生

国際産学連携拠点

- ◆ 「大熊分析・研究センター」 (H30年3月運用開始予定)
 - ・燃料デブリ等の性状把握や処理技術の開発【大熊町】
- ◆ 「廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟」 (H29年4月運用開始)
 - ・国内外の大学、研究機関、企業等による廃炉研究と人材育成【富岡町】
- ◆ 「楢葉遠隔技術開発センター (モックアップセンター)」 (H28年4月本格運用開始)
 - ・原子炉格納容器の調査・補修用ロボット等の開発や実験等【楢葉町】

ロボット開発・実証拠点

- ◆ 「ロボットテストフィールド」 (H30年度順次開所予定)
 - ・災害対応ロボット等の実証試験等【南相馬市・浪江町】
- ◆ 「国際産学官共同利用施設 (ロボット)」 (H28年～設計等開始)
 - ・ロボットの基礎的・基盤的研究等【南相馬市】

新たな産業集積

- ◆ 「石炭ガス化複合発電 (IGCC) 事業」 (H29年春～工事着手)
 - ・世界最新鋭のIGCC設備を2基新設し、石炭利用技術の一大拠点化【広野町・いわき市勿来】
- ◆ 「福島新エネ社会構想」
- ◆ 「農林水産業プロジェクト」
 - ・農業用ロボットの開発・実証、CLTの推進、水産研究拠点など

福島新エネ社会構想

○イノベーションコースト構想の新エネルギー分野を加速化し、福島県を未来の新エネルギー社会先取りモデル創出拠点とする



- * 世界へ発信
- * 新エネ産業集積地
- * 再エネ先進モデル



世界最大級の
水素工場を建設

※2020年東京オリンピックまでの稼働を目指す

水素エネルギーの
一大生産地化

ロボット・航空宇宙産業の集積

○ロボット産業

- ▼大手企業が医療・福祉用ロボット開発拠点を郡山市に設置
- ▼南相馬市において大手企業が地元企業と連携し、無人航空機開発を開始

○航空宇宙産業

- ▼大手企業が相馬市に航空機関連部品生産拠点の工場を新設
- ▼航空エンジン部品出荷額全国2位 (H26: 約1,300億円)

3-4. 成長に向けた歩み【産業の集積状況】

エネルギー関連・I(C)T・医療産業・アグリビジネス・ロボット開発等、研究開発・産業創出拠点の整備が進む

【会津地域】

- 会津大学 先端ICTラボ（リクティア）
- 会津若松スマートシティ
- 会津電力
- Oメディカルシステムズ社
- 会津若松ウインドファーム
- 木質バイオマス発電所



提供：（独）産業技術総合研究所

【県北地域】

- 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター（ふくしま国際医療科学センター）

イノベーション・コースト構想

- 国際産学連携拠点
- ロボット開発・実証拠点
- 新たな産業集積

医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター



出所：福島県HP

国際廃炉研究開発拠点



出所：福島県HP

【県中地域】

- 産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
- ふくしま医療機器開発支援センター
- 三春町環境創造センター
- 郡山市布引高原風力発電所
- 福島空港メガソーラー
- 風の谷Ten-ei天栄風力発電所
- S社介護ロボット郡山工場
- Jメディカルカンパニー社

ふくしま医療機器開発支援センター



（イメージ）

出所：福島県HP

【県南地域】

- Oメディカルシステムズ社
- Mガス化学社
- S半導体社
- 西郷村太陽光発電事業
- ユーラス矢吹中島ソーラーパーク
- 白河ウッドパワー

【相双地域】

- 相馬港LNG基地等整備
- 富岡復興メガソーラー・SAKURA
- 波倉メガソーラー発電所
- 南相馬ソーラーアグリパーク
- 大熊町ふるさと再興メガソーラー
- いたてまでいな太陽光発電事業
- 懸の森太陽光発電所

【いわき地域】

- 石炭ガス化複合発電（IGCC）
（広野町・いわき市勿来）
- 小名浜港湾機能強化事業
- 浮体式洋上風力発電設備
「ふくしま未来」 「ふくしま新風」

Ⅱ．平成28年度決算の概要

1. 平成28年度決算の概要

(単位:億円)		28年度	27年度	前年度比
経常収益(売上)	①	648	691	△42
コア業務粗利益(粗利益)	②	464	470	△6
資金利益(④+⑤+⑥-⑦-⑧)	③	389	388	+1
貸出金利息	④	283	296	△13
有価証券利息・配当金	⑤	121	111	+9
日銀預け金など	⑥	10	11	△1
預金等利息(△)	⑦	9	17	△7
外貨調達コストなど(△)	⑧	15	13	+2
役員取引等利益(手数料収支)	⑨	78	90	△12
経費(⑪+⑫+⑮)	⑩	375	380	△4
人件費	⑪	188	189	△0
物件費	⑫	166	169	△2
うち減価償却費	⑬	25	21	+3
うち預金保険料	⑭	21	19	+2
税金(消費税、印紙税など)	⑮	20	21	△1
コア業務純益(営業利益)(②-⑩)	⑯	88	90	△1
有価証券関係損益	⑰	16	50	△34
国債等債券売買損益	⑱	1	36	△35
株式等関係売買損益など	⑲	15	14	+1
信用コスト(与信関係費用)(△)	⑳	繰入額 9	戻入益 △2	負担増 12
その他臨時損益	㉑	11	16	△4
経常利益	㉒	106	159	△53
税引前当期純利益	㉓	103	155	△52
税金費用(法人税、住民税など)	㉔	29	54	△25
当期純利益	㉕	73	100	△26

平成28年度決算のポイント

コア業務純益 88億円

- ③**資金利益**は、マイナス金利の影響により貸出金利息が減収となるも、有価証券の効率的運用および調達コストの減少により**前年度比増加**
- ⑨**役員取引等利益**もマイナス金利を背景に、保険や投資信託などの金融商品の販売が伸び悩み、**前年度比減少**
- ⑫**物件費**は、減価償却費および預金保険料が増加するも、コスト圧縮の徹底により**前年度比減少**

経常利益 106億円

- ⑰**有価証券関係損益**は、マイナス金利政策により市場金利が低下、**前年度比減少**
- ⑳**信用コスト**は予防的引当を徹底し、**前年度比増加**、繰入額9億円計上

業績予想と実績の対比

- ㉒㉕**経常利益**は**106億円**、**当期純利益**は**73億円**を計上
年度を通じマイナス金利政策の影響を大きく受けた。

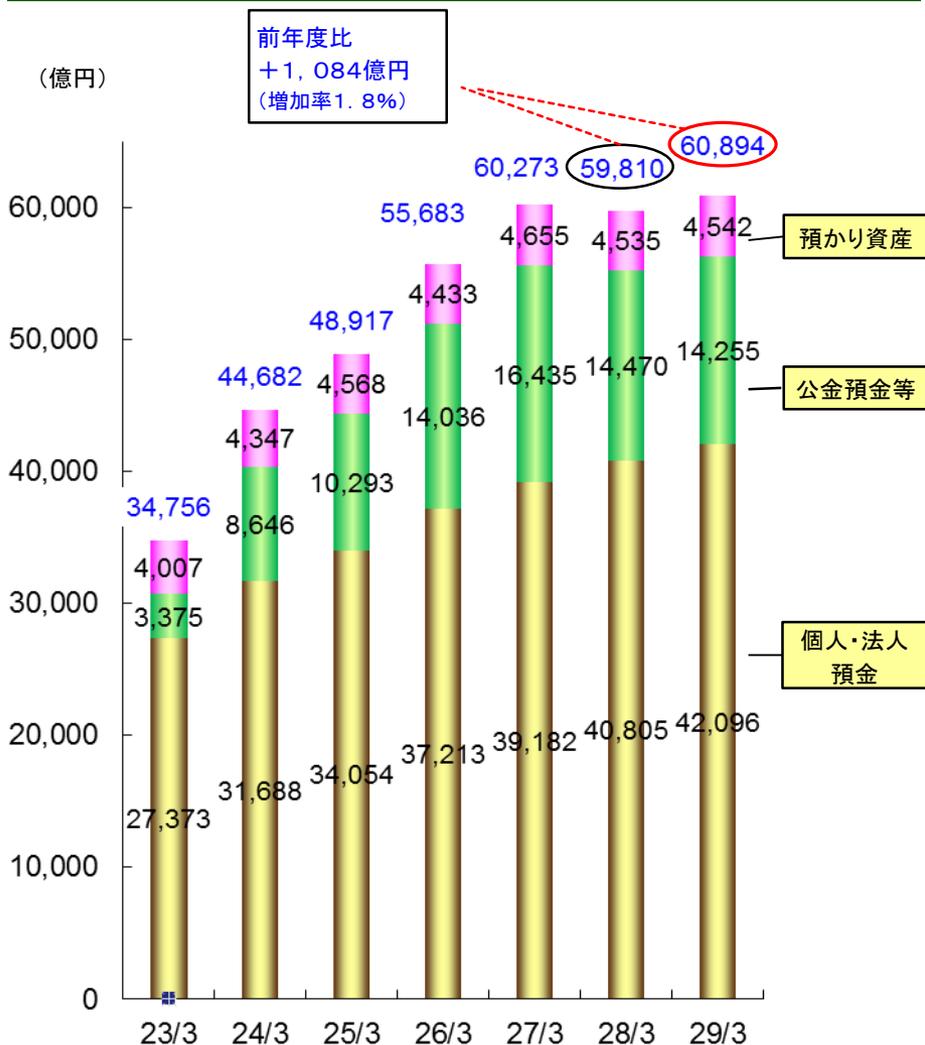
(単位:億円)

		平成28年度		
		業績予想	実績	(達成率)
単体	経常利益	115	106	92%
	当期純利益	80	73	91%

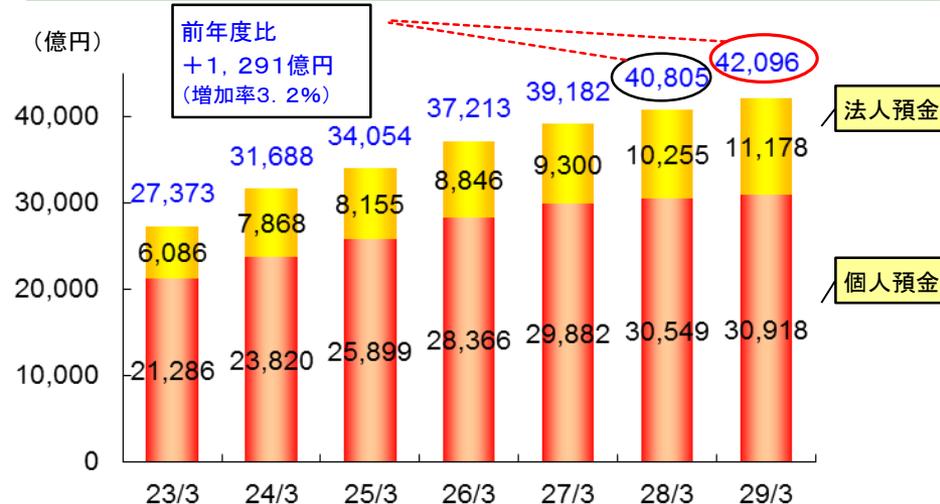
2. 業容関連 (1) 預かり資産の状況

総預かり資産残高は前年度比 **1,084億円**増加し、過去最高の**6兆円**となる。
特に**個人預金・法人預金**は前年度比**+1,291億円**の大きな伸び

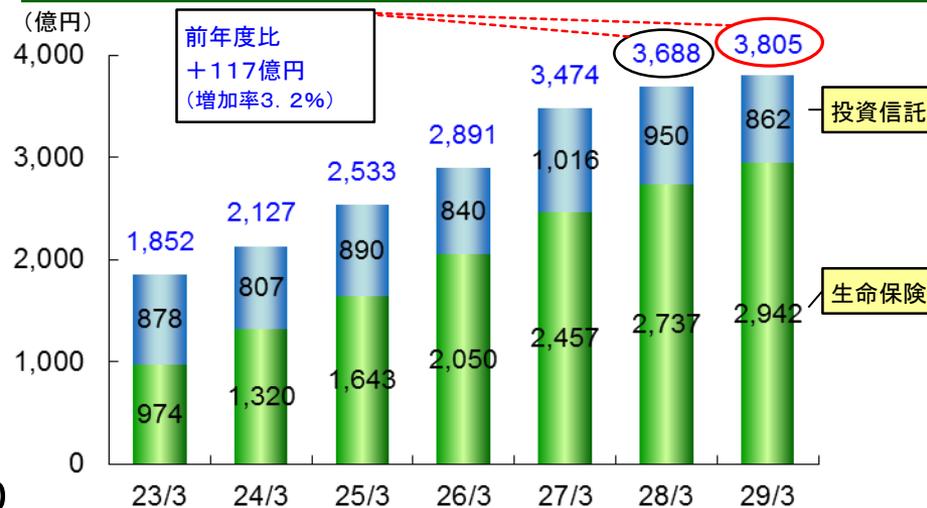
総預かり資産残高【総預金+預かり資産】の推移



個人預金・法人預金の推移



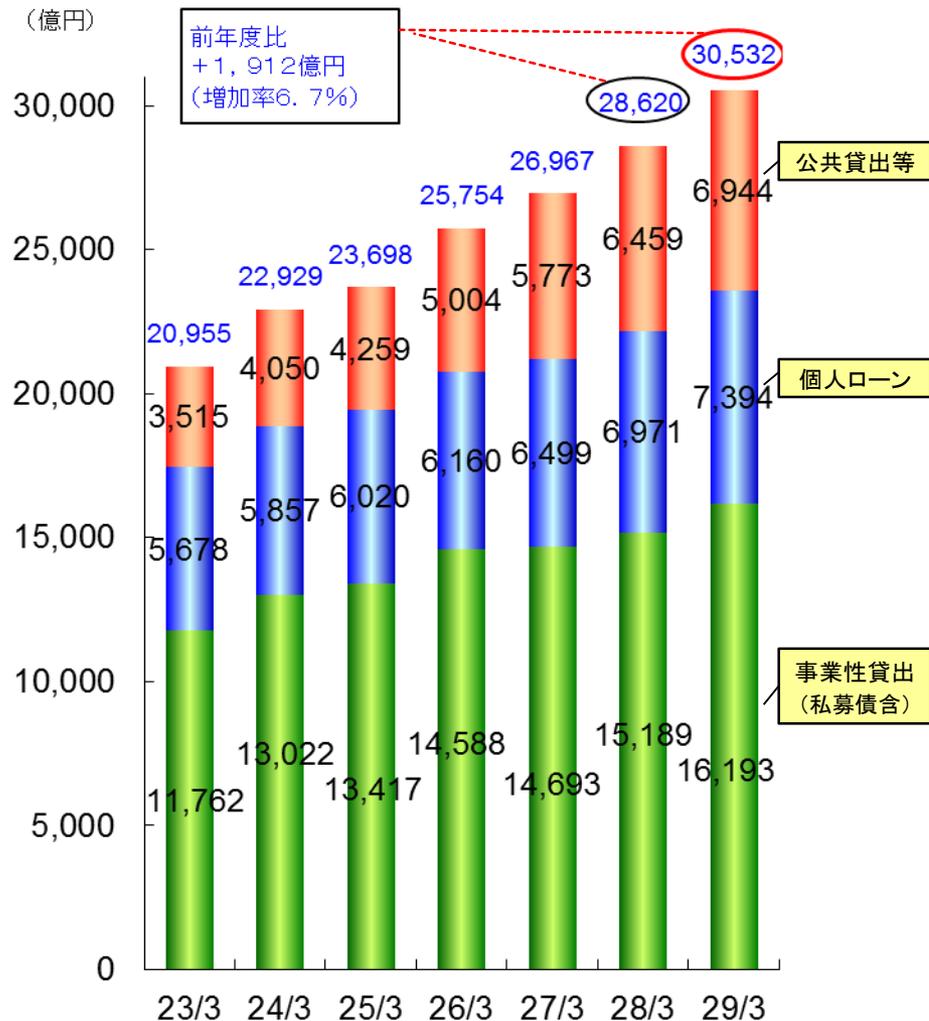
投資信託・生命保険の残高推移



2. 業容関連 (2) 貸出金の状況

事業性貸出・個人ローン・公共貸出等、全ての貸出において順調にボリューム増加、初めて3兆円台となる。

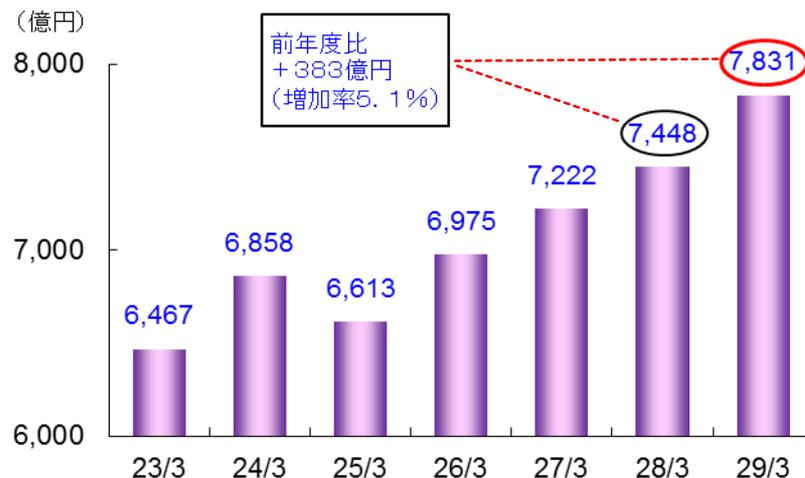
貸出金残高の推移



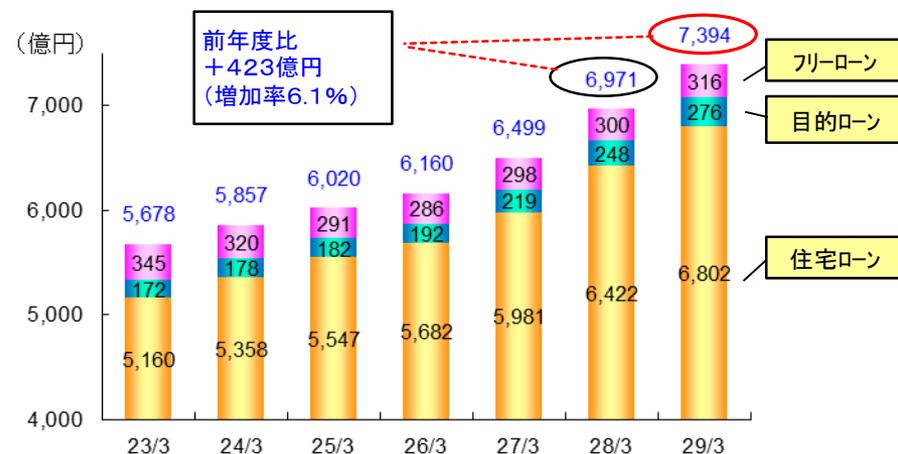
(注) 公共貸出等は交付税等貸出金を除く

中堅・中小企業向け貸出金残高の推移

中堅・中小企業・・・資本金10億円以下の企業および個人事業主(当行独自基準)



個人ローン残高の推移

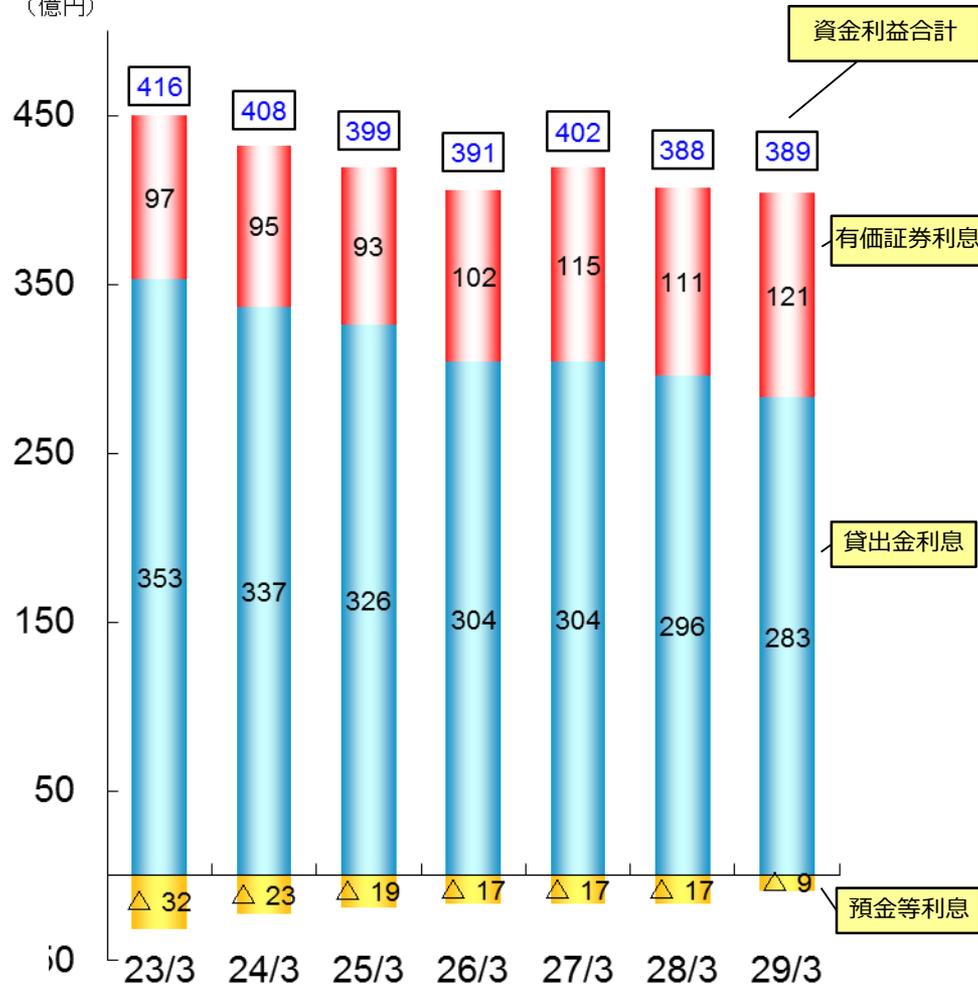


3. 収益関連 (1) 資金利益の状況

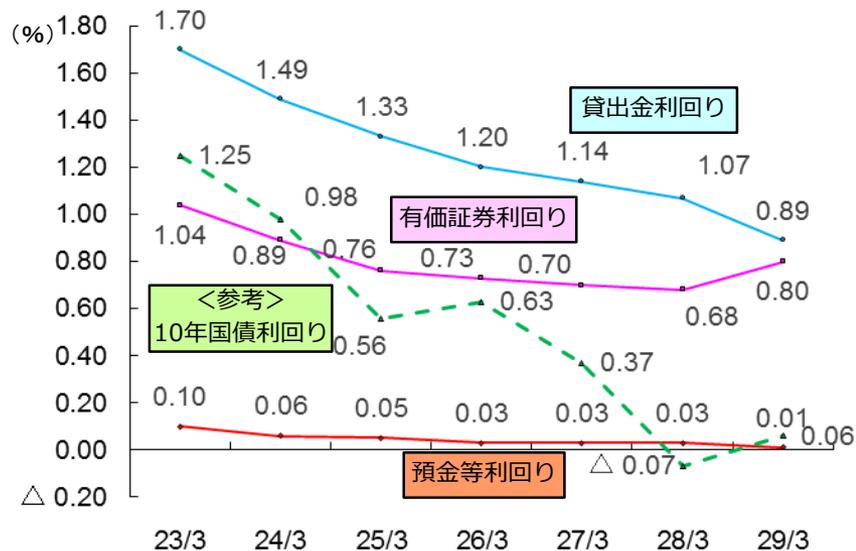
マイナス金利政策により運用利回りが低下する中、効率的な有価証券運用等により**資金利益は前年度比増加**
様々な投資ファンドへも積極的に対応

資金利益の内訳

(億円)



利回りの推移



多様なファンドへの出資

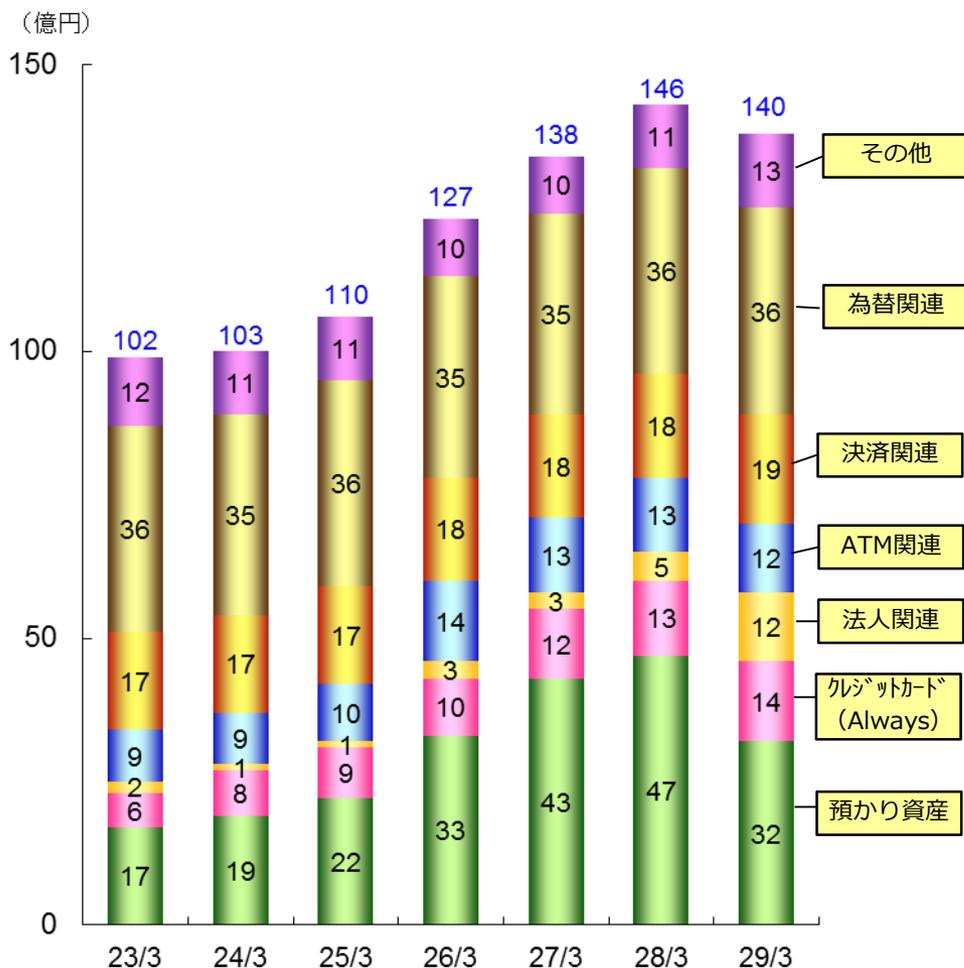
<主な出資ファンド>

米国シリコンバレー I T 関連企業向けファンド
A S E A N 域内中堅企業向けファンド
フィンテック国内ベンチャー企業向けファンド 【S B I インベストメント (ソフトバンク系)】
慶應義塾大学発ベンチャー企業向けファンド
地方の事業承継企業向けファンド
地方活性化企業向けファンド 【福岡キャピタルパートナーズ (福岡銀行系)】

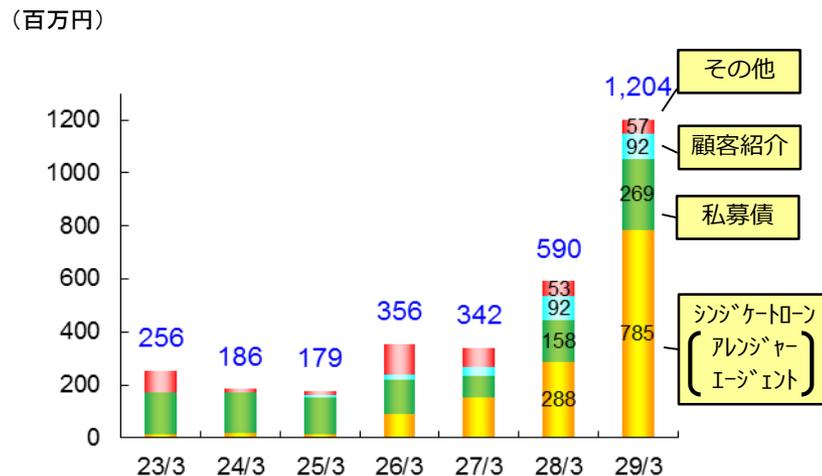
3. 収益関連（2） 役務取引等収益（手数料収入）の状況

法人関連手数料が増加するも、マイナス金利政策下、預かり資産収益の減少もあり前年度比△6億円

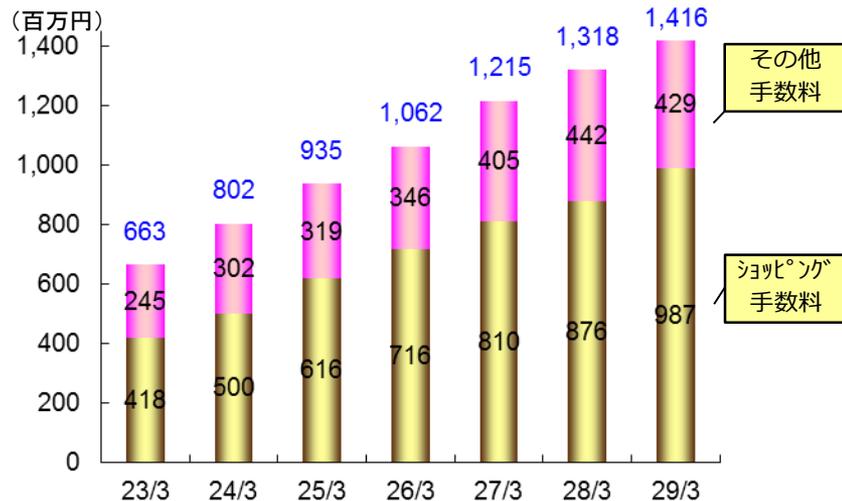
役務取引等収益の推移



法人関連手数料の推移



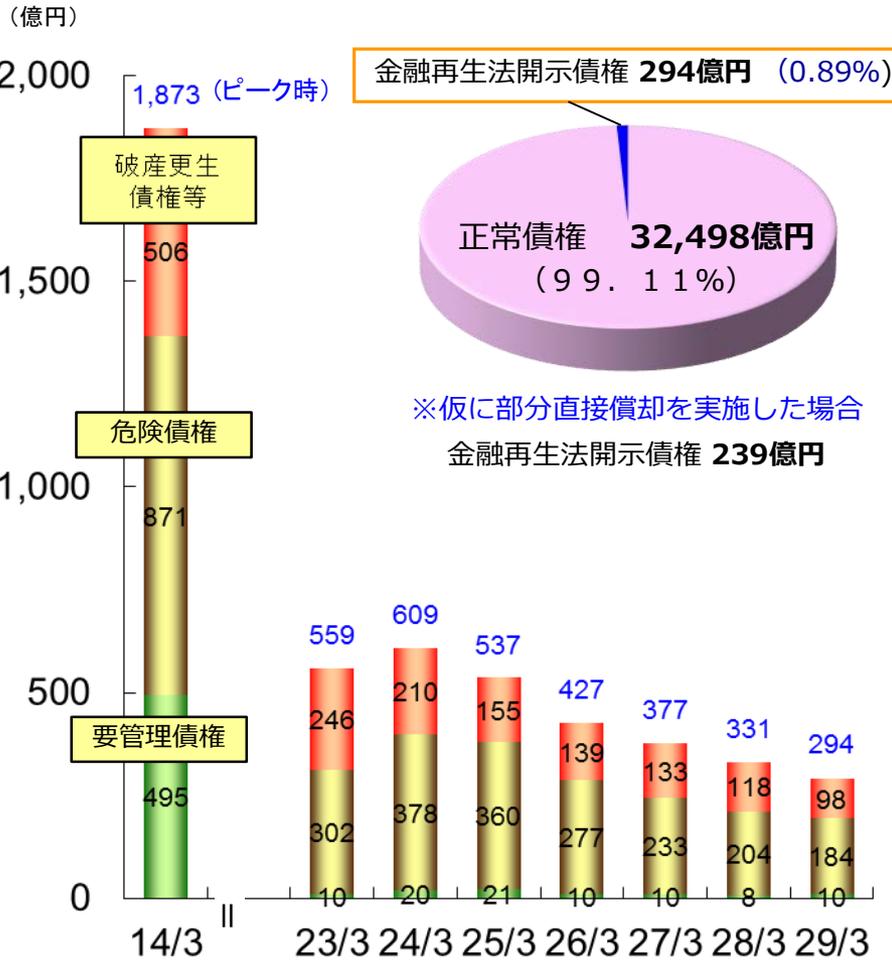
クレジットカード (Alwaysカード) 手数料推移



4. 経営体質 (1) 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率（≒不良債権比率）は**0.89%**まで低下。地銀トップクラスの水準を維持

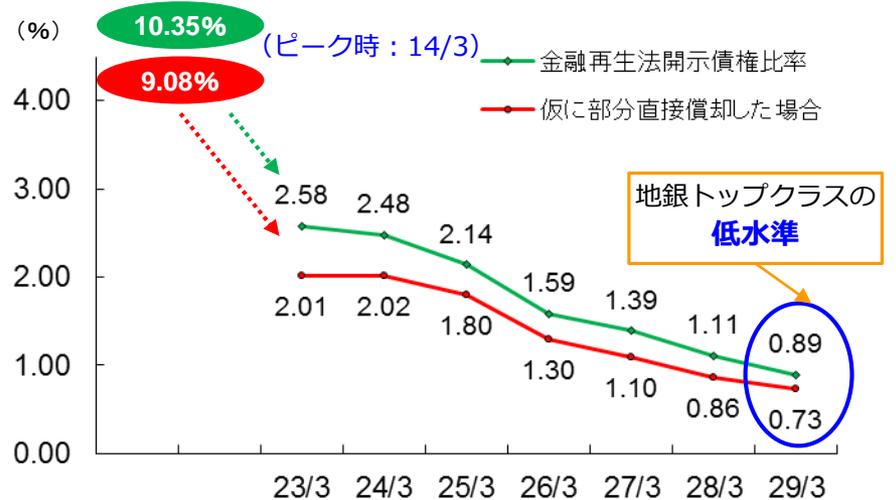
金融再生法開示債権の推移



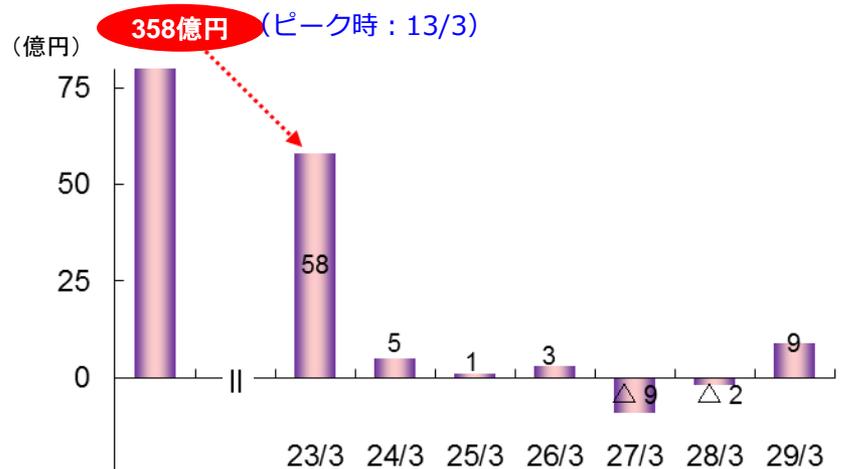
※部分直接償却

「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

金融再生法開示債権比率の推移



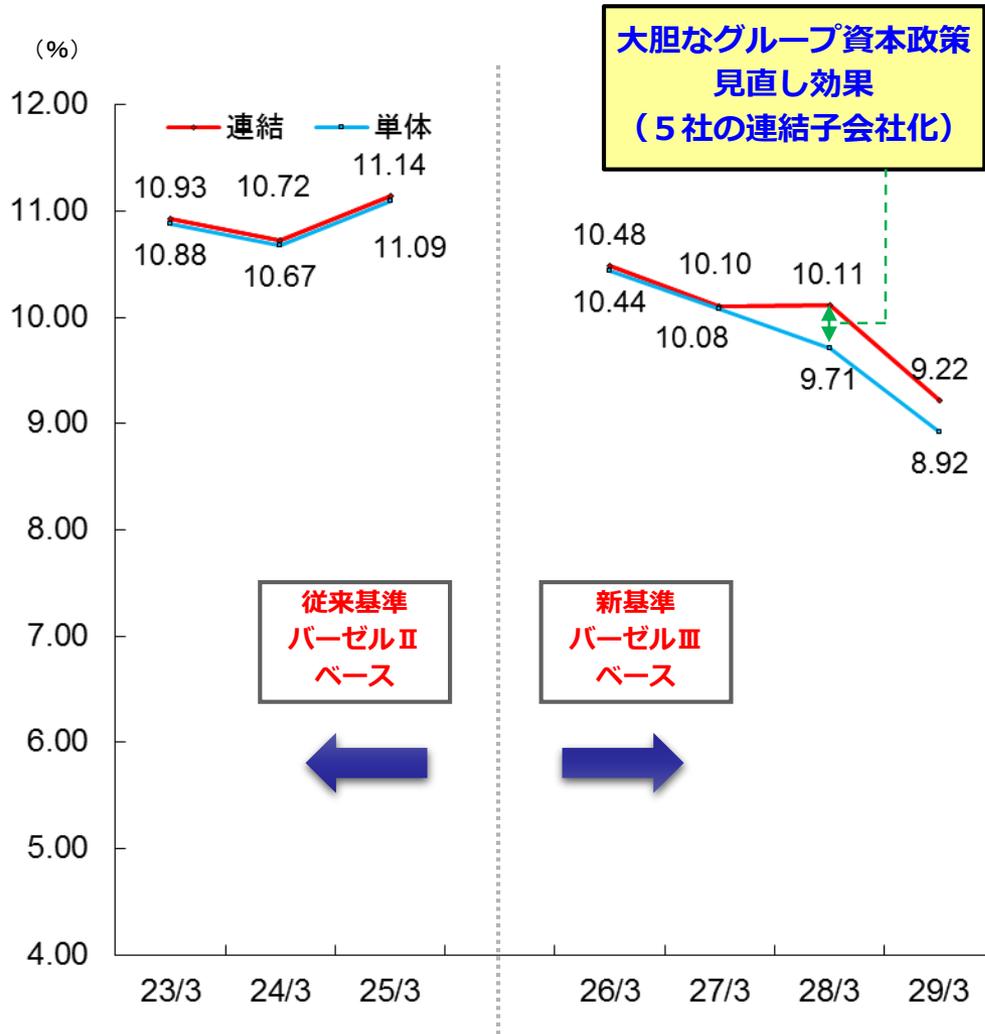
信用コストの推移



4. 経営体質 (2) 経営の健全性

自己資本比率は国内基準行の規制水準（4%）を十分に上回る

自己資本比率の推移



自己資本および総資産等の推移

連結 (億円)

	28/3	29/3	増減
自己資本 (A)	1,980	1,994	+13
総資産等 (B)	19,587	21,621	+2,033
自己資本比率 (A/B)	10.11%	9.22%	△0.88%

単体 (億円)

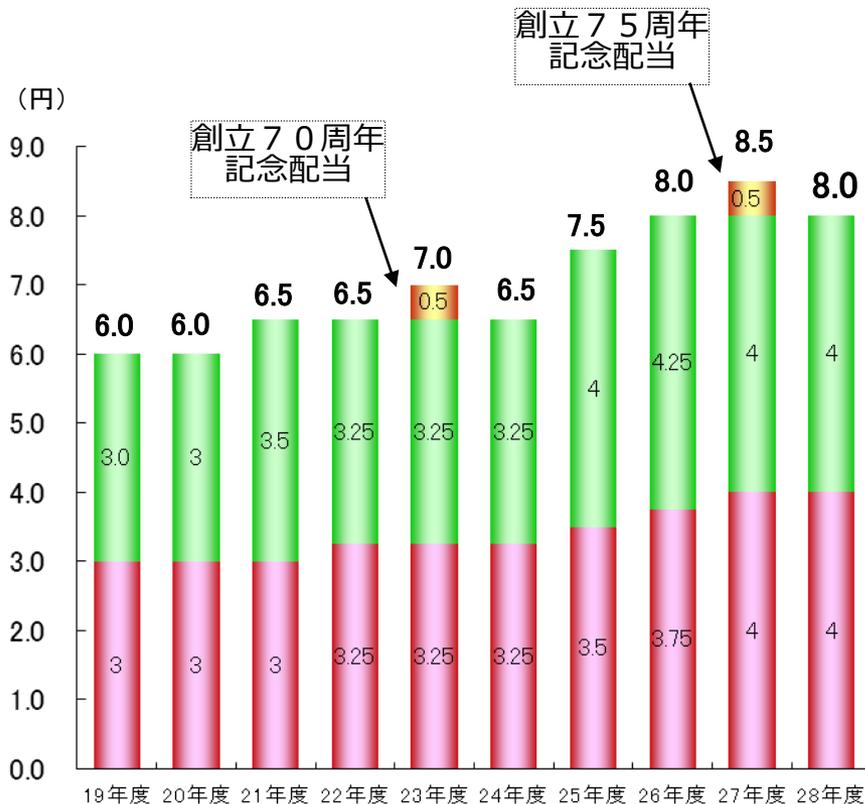
	28/3	29/3	増減
自己資本 (A)	1,905	1,926	+20
総資産等 (B)	19,616	21,582	+1,966
自己資本比率 (A/B)	9.71%	8.92%	△0.78%

5. 配当金・株主さまご優待制度

内部留保の充実による健全性の向上を図りながら、業績の成果に応じ弾力的に株主の皆さまへ利益を還元
平成28年度は1株あたり年間8.0円配当

1株あたり配当金

■ 中間配当 ■ 期末配当



株主さまご優待制度

保有株数・保有期間に応じた優待制度

保有株数	保有期間		
	1年未満	1年以上	5年以上
10,000株以上	3,000円 ギフトカード	8,000円 相当商品	10,000円 相当商品
5,000株以上 10,000株未満	2,000円 ギフトカード	5,000円 相当商品	8,000円 相当商品
1,000株以上 5,000株未満	1,000円 ギフトカード	3,000円 相当商品	5,000円 相当商品

<下記のカタログから1品または宿泊施設優待券を選択>
 [カタログⅠ] 『ふくしまからの贈りもの』
 [カタログⅡ] 『TSUBASAアライアンス共同特産品コース』

保有株式数1,000株以上のすべての株主さま

[定期預金金利優遇] (10万円以上300万円以内)

1年もの定期預金 **+0.2%金利上乘せ**

[投資信託手数料優遇] (120万円まで)

通常**申込手数料無料**

単元株式数(最低売買単位)の変更(平成29年8月1日から)

単元株式数を**1,000株**から**100株**に変更
 ⇒よりご投資しやすくすることで**投資家層を拡大**

Ⅲ. 東邦銀行の取組み

<中期経営計画> 進捗状況

長期目標

大きく・強く・たくましく®

メインテーマ

「とうほう“サミット”プラン」～裾野を広く・山を高く～
計画期間：平成27年度～平成29年度(3年間)

基本方針

I. ふくしまの
“復興から成長”への貢献

II. お客さまから選ばれる
銀行づくり

III. 持続可能な企業体質
の確立

計画策定時の前提

利回り	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成29年3月31日 実勢レート
TIBOR3ヵ月(注)	0.142%	0.260%	0.260%	0.057%
5年国債	0.035%	0.200%	0.200%	△0.118%
10年国債	0.300%	0.750%	0.750%	0.070%

(注) TIBORは、Tokyo Interbank Offered Rateの略で、東京の銀行間取引金利。

対外公表計数の進捗状況

項目	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 中計目標	平成29年度 計画(注)
当期純利益	100億円	73億円	125億円	75億円
自己資本利益率(ROE)	5.28%	3.83%	6%台	3.8%
自己資本比率	9.71%	8.92%	10%台	8.7%
中核的自己資本比率(注)	8.62%	8.06%	9%台	8.0%

(注) 中核的自己資本は、自己資本から劣後調達を控除したもの

(注) 金利情勢の変化等を踏まえ、中計目標を修正

1. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (1) 地域の創生・発展への積極的な参画

地方創生への取組み

県内自治体の「地方版総合戦略」推進をサポート

地方創生プロジェクト

県内自治体のニーズに応じた
具体的な取組みをサポート

とうほう・地方創生
結婚応援プロジェクト

マリッジパートナーズと連携し、
婚活イベントを開催

当行独自の投資ファンドの創設

○第1号ファンド(平成25年8月～平成28年4月)

「とうほう・次世代創業支援ファンド」:総投資額10億円

福島県・宮城県の14企業に投資

アパレル、アプリ開発、太陽光発電、再エネコンサル、飲料販売、医療品開発
アニメ制作、ロボット開発、Webサービス品質検証、クリーニング業、植物工場
情報通信、ものづくり企画、衣料品関連

○第2号ファンド(平成28年4月～)

「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」

当行独自

創業期・成長分野などのお客さま

第8号案件決定
投資内定8件/3億円

株式引受・社債引受

「とうほう・ふるさと総活躍応援ファンド」

出資

出資総額10億円

出資・運営

当行:9億9千万円 東邦リース・山田ビジネスコンサルティング:1千万円

新規創業・第二創業の支援

○とうほう“起業家応援”相談会の開催

○福島県中小企業診断士協会との連携による「とうほう創業支援塾」の開催

「とうほう・地方創生セミナー」の開催

○「地方版総合戦略」の策定をサポートする取組みとして
当行が独自に開催。

【開催テーマ】

地方創生に関する地域経済
活性化・地域経営について

【主な参加者】

福島県内自治体の首長や
自治体職員、等



第3回 ふるさと応援「在京福島県経済人の集い」の開催

総勢280名参加

【主な参加者】

福島県ゆかりの経済人
県知事および各市町村長
商工会議所会頭など



次世代経営者の支援

○復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」(㈱タナベ経営様と提携)

会員数

880名
(うち女性35名)

○「とうほう次世代経営塾」
(1期～4期)

塾生

累計108名
(うち女性13名)



1. 福島県の“復興から成長”への貢献 (2) お取引先の販路拡大支援

第4回 「ふるさと応援！ 福島酒まつり」



福島県酒造協同組合・ふくしま館MIDETTE（福島県）等と連携し、東京「丸ビル」でふくしまの酒や県産品をPR

入場者数：約2千人・地酒セット販売数：約2千セット

第10回 食の商談会 福島フードフェア



於：ビッグパレットふくしま

県内最大規模の食の展示・個別商談会（平成28年10月）

主催：当行、福島県、JA全農福島、農林中央金庫福島支店
参加企業 約180社

復興支援通販事業の企画・実施



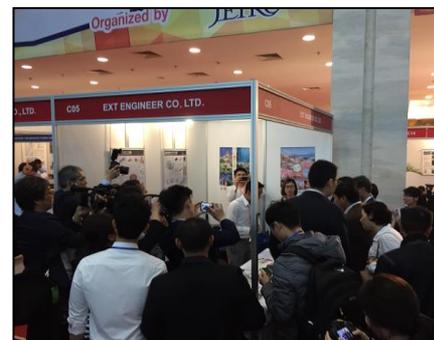
福島県産品の販売支援を目的とした通信販売事業企画

累計販売個数：176千個・累計販売金額：707百万円
【平成29年3月末までの累計】

海外商談会の企画・開催



福島県観光・物産セミナー in パース&シドニー お取引先 8社
出展・協賛（平成28年10月）



FBC/HAI2017ものづくり商談会
お取引先 5社出展
（平成29年2月）

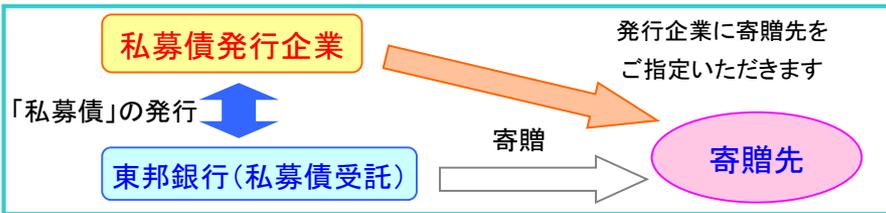
商談会開催国：オーストラリア、ベトナム、タイ、中国

1. ふくしまの“復興から成長”への貢献

(3) 多様な資金ニーズへの対応と海外マーケットへの進出支援

「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債」の取扱い開始

○発行手数料の一部から、お客さまのご希望の、学校、福祉施設等へ備品・図書等を寄贈



⇒29年3月末実績計 63件・8,790百万円
(平成28年6月取扱い開始)

「リース媒介業務」の取扱い開始

○平成29年2月より、子会社「東邦リース」が取扱うリース商品の媒介業務(注)を新たに開始

○お客さまに銀行融資とリース商品を一体的にご提案
⇒資金調達が多様化・資金の効率的運用が可能に！

(注) 当行が取扱うリース商品：「所有権移転外ファイナンス・リース」
リース期間満了時に、リース物件所有権がお客さまに移転せず、リース会社に残るリース形態。

新産業金融(エネルギー・ヘルスケア・ロボット・環境分野等) 推進

法人営業部「新産業金融推進室」の新設

○イノベーションコースト構想や福島新エネ社会構想、ロボット・航空宇宙産業の集積等、研究開発・産業創出拠点の整備が進む

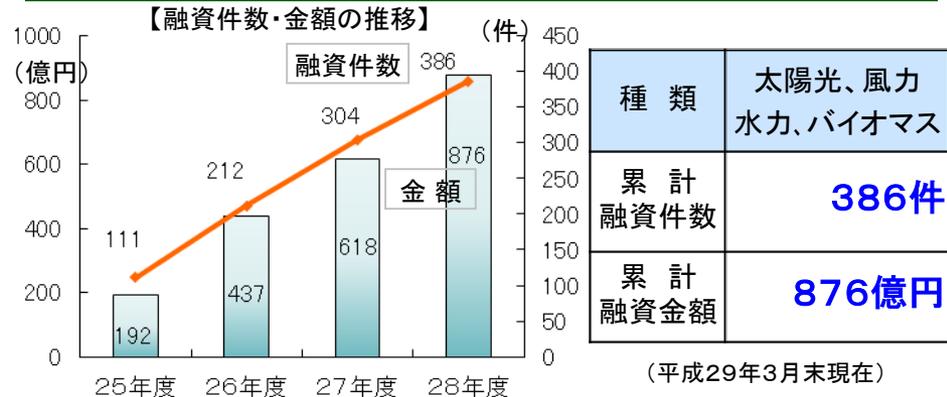
○地域の産業創出・成長産業支援に、より積極的に関与するため専担部署を設置



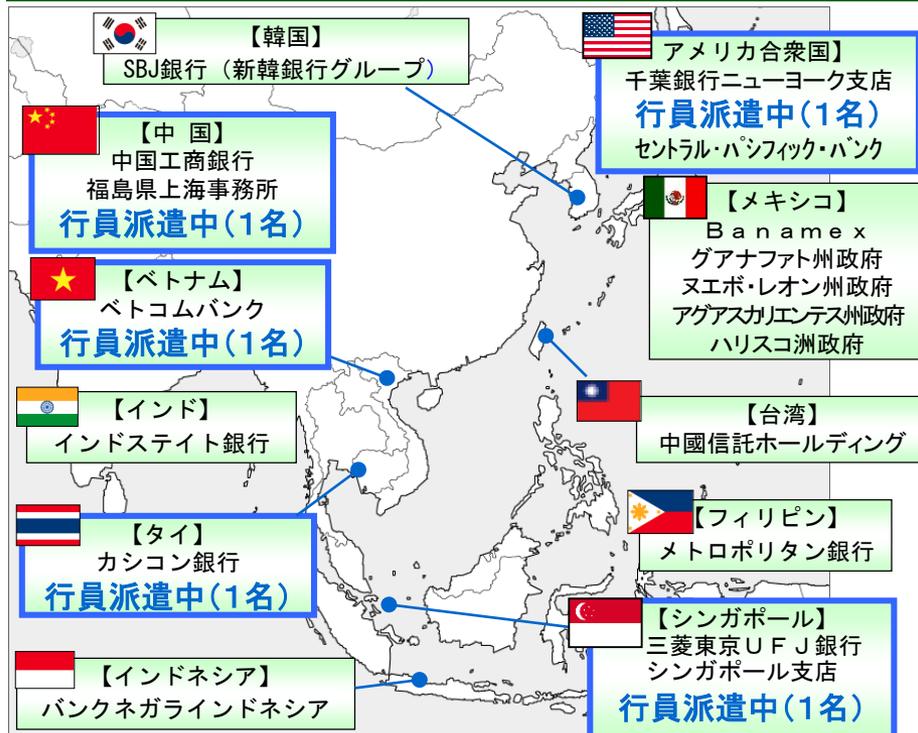
新産業金融推進室

さらに産業振興への取組みを強化

再生可能エネルギー分野への積極的な関与



海外銀行等との積極的な業務提携



1. ふくしまの“復興から成長”への貢献 (4) 経営課題提案型営業・事業再生支援等の取組み

円滑な事業継承支援・M&A業務の取組み

- 営業店と本部が連携し課題解決に向けたサポートを実施
- 「事業承継・M&Aエキスパート」資格保有者約660名

東北地区で認定者数第1位

- 外部専門機関と連携し、個社毎のサポート体制を構築

【事業承継支援対応】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対応先数(延べ)	280	323	357	480

【M&A関連業務の実績】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
相談対応件数	57	70	62	67

日本M&Aセンター主催「バンクオブザイヤー表彰」

平成26年

(地銀62行加盟)

“バンクオブザイヤー”(最高賞)を受賞

平成27年

“ディールオブザイヤー”と“特別賞”

をダブル受賞(成約案件優秀賞)

平成28年

“地域貢献大賞”を受賞

【M&A】企業や事業の譲渡・合併・買収等の総称

3年連続受賞



事業後継者の婚活支援・経営幹部人材確保支援

婚活支援紹介実績

平成27年度 11件

平成28年度 11件

人材確保支援紹介実績

平成27年度 29件

平成28年度 40件

復興支援・事業再生支援の取組み

復興支援ファンド

出資合計実績:30件/約69億円

- ふくしま応援ファンド ファンド総額50億円
- 東日本大震災中小企業復興支援ファンド ファンド総額88億円
- ふくしま復興・成長支援ファンド ファンド総額50億円

二重ローン債権支援

実績:63件/約45億円

	支援決定	買取決定	済
福島産業復興機構		29件	
東日本大震災事業者再生支援機構		34件	

事業再生支援の実績

<主な連携外部機関>

- 地域経済活性化支援機構
- 福島県中小企業再生支援協議会
- 福島産業復興機構
- 東日本大震災事業者再生支援機構
- 個人版私的整理ガイドライン運営委員会



平成28年6月28日
福島民報 朝刊

老舗酒造会社
の再生事例

	企業数	従業員数	融資額
支援協議会	13先	1,016人	133億円
地域経済活性化支援機構	4先	1,456人	126億円
その他私的再生	25先	2,460人	305億円
法的再生	5先	1,622人	208億円
合計	47先	6,554人	772億円

2. お客さまから選ばれる銀行づくり (1) 個人のお客さまサポートのための取組み

「赤ちゃん世代」から「シニア世代」まで、ライフサイクルに応じて多様なニーズに対応した商品をご提案

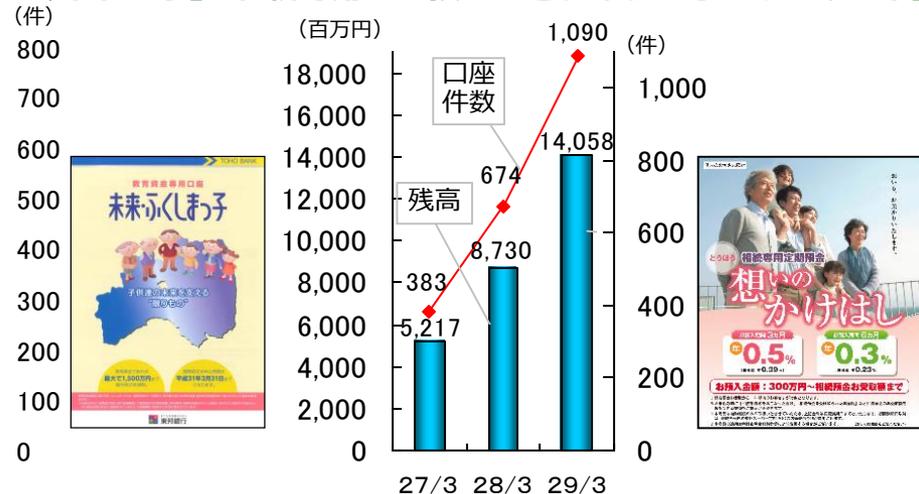
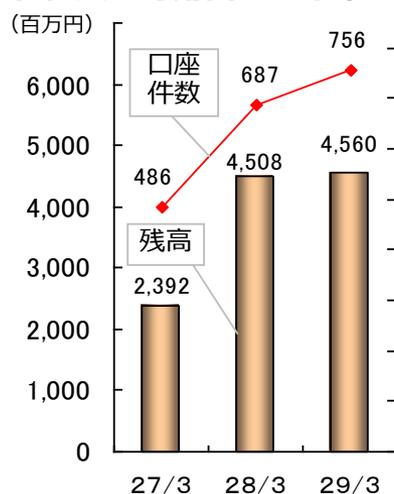
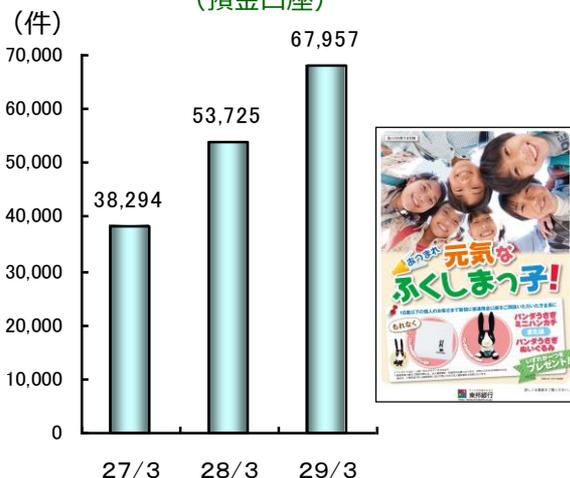
誕生～若年層

現役層

シニア層

「あつまれ 元気なふくしまっ子！」
(預金口座)

教育資金専用口座「未来・ふくしまっ子」 相続専用定期預金「とうほう・想いのかけはし」



カード事業への取組み (クレジットカード・即時決済カード)

【銀行本体発行】 東邦 Always カード
クレジットカード

東北地銀「初」

309千会員
(平成29年3月末)

(一体型キャッシュカード・クレジット単体カード含む)

- キャッシュカード機能とクレジットカード機能が一体
- クレジット単体型もあり



【即時決済】 東邦デビットカード [JCB] 取扱開始

(平成28年6月～)

東北地銀「初」

34千会員
(平成29年3月末)

- 利用代金を口座から即時決済
- 国内外問わず JCB 加盟店で利用可能



Apple Pay 取扱開始

(平成28年10月～)

- 東邦 Always カード・デビットカードを iPhone7 等に設定
- スマホ等で商品購入が可能



2. お客さまから選ばれる銀行づくり (2) 資産運用のお手伝い

とうほう証券株式会社の開業 (平成28年4月開業)

東北・北海道地区 「初」の地銀系証券

○お客さまの様々な
資産運用ニーズに
ワンストップで対応

【店舗一覧】

- 福島支店 (東邦銀行本店営業部内)
- 郡山支店 (東邦銀行郡山営業部内)
- 会津支店 (東邦銀行会津支店内)
- いわき支店 (東邦銀行いわき営業部内)
- 原町営業所 (南相馬市内)



「遺言信託・遺産整理業務」の取扱開始

(平成29年6月1日取扱開始予定)

東北地銀「初」・唯一

○お客さまの円滑な
資産承継・相続
対策ニーズに
ワンストップで
対応

遺言作成サポートサービス

- 財産台帳作成
- 資産配分案の検討
- 資産承継のための報告書作成

遺言信託

- 遺言書作成のご相談
- 遺言書保管
- 遺言書に基づく遺産分割手続き

遺産整理業務

- 相続財産調査・財産目録作成
- 遺産分割協議書作成アドバイス
- 遺産分割手続きの実施

グループ全体の預かり資産残高

(単位：億円)

項目	26/3	27/3	28/3	29/3
グループ合計	4,486	4,573	4,614	4,878
投資信託	841	1,017	950	940
生命保険	2,050	2,370	2,737	2,943
金融商品仲介	1	5	80	50
公共債	1,594	1,181	847	737
外債・仕組債	-	-	-	169
株式	-	-	-	39

非対面チャネルによるお客様の利便性向上

インターネットによる 投資信託申込み



申込手数料の
優遇幅拡大



取扱商品の
拡大

インターネットによる 保険商品申込み



インターネット専用保険商品
の取扱開始



2. お客様から選ばれる銀行づくり (3) 個人のお客様向けローンの取組み

ローン専門店の体制

福島県内 8 カ店
宮城県内 2 カ店



<とうほう> 教育ローン

選べる2つのお借入れタイプ

教育ローンの
お借換えOK!



必要な金額を
まとめてお借入れ!

**一括借入
方式**

入学時にまとまった金額が必要となる方や、
入学金や授業料など支払う時期や金額が
決定している方におすすめ!



必要な時に都度
ATMお借入れ!

**カードローン
方式**

在学中の都度の費用に備えたい方、
支払う時期や金額が
決定していない方におすすめ!

住宅ローンの推進

○「東邦スーパー住宅ローンプラス7」

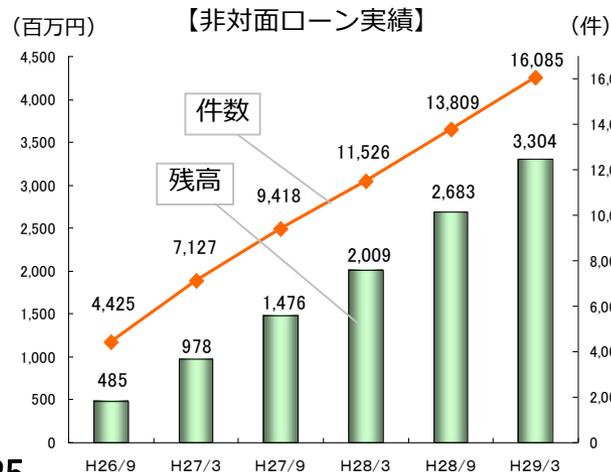
【対象資金】

- ・住宅資金の100%
- ・さらに諸費用・目的資金や他のローンのおとりまとめ資金も**最大700万円まで**プラスご融資



非対面チャネルによるローン申込み

○TOHOスマートネクスト「WEB契約」等



平成27年10月取扱開始

○スマホでご契約OK

TOHOスマートネクスト
(とうほう)カードローン
(とうほう)フリーローン

【資金用途】自由

【利用金額】30

～500万円

2. お客さまから選ばれる銀行づくり (4) 店舗・チャネル戦略

店舗戦略 (震災以降)

<p>【店舗統合】 北福島支店 (23年2月)</p> 	<p>【新設】 八山田支店 (24年11月)</p> 	<p>【店舗移転】 矢吹支店 (25年3月)</p> 	<p>【店舗建替】 郡山中町支店 (26年4月)</p> 
<p>【新設】 名取支店 (26年5月・27年7月)</p> 	<p>【店舗建替】 谷川瀬支店 (26年11月)</p> 	<p>【店舗移転】 滝沢支店 (27年10月)</p> 	<p>【新設】 米沢支店 (28年4月)</p> 
<p>【店舗再開】 檜葉支店 (28年4月)</p> 	<p>【店舗再開】 小高支店 (28年12月)</p> 	<p>【店舗建替】 郡山駅前支店 (29年2月13日)</p> 	<p>【店舗移転】 三春支店 (29年4月17日)</p> 
<p>【店舗再開】 富岡支店・ 大熊支店 (29年4月6日)</p> 	<p>【店舗再開】 浪江支店・ 双葉支店 (29年6月予定)</p> <p>1つの建物内 で2つの支店 が営業予定</p>	<p>【新設】 仙台泉支店 (29年6月予定)</p> <p>宮城ブロック に4店舗目 (ロ-ンセンター併設)</p>	<p>【新設】 郡山金屋支店 (29年11月予定)</p> <p>当行 117店舗目</p>

<土・日営業実施店舗>

- 北福島支店 ○八山田支店 ○郡山東支店
- 滝沢支店 ○谷川瀬支店 ○いわき鹿島支店

東邦銀行ならではのATMサービス

店内ATMコーナーの
営業時間は

毎日 朝7時~夜10時

いつでもご利用OK!

(27年6月開始)

東邦銀行本支店宛の
お振込みは

毎日 朝7時~夜10時

土日もすぐお振込み!

(27年6月開始)

お預入れ、お引出しは

毎日 朝7時~夜10時

いつでも無料!

(25年4月開始)

移動店舗車「とうほう・みんなの移動店舗」

- 避難されているお客さまへの利便性提供

【営業ポイント】(平成29年4月6日現在)

- いわきニュータウン
- 浪江町役場

- 不測の事態にも金融サービスを
提供できる体制整備



人型ロボット「Pepper (ペッパー)」

東邦銀行へようこそ!
ペッパーです!

【配属店】

- 本店営業部・郡山営業部
- 会津支店・いわき営業部
- 名取支店

福島県内
金融機関
「初」



3. 持続可能な企業体質の確立

(1) 地方銀行連携・フィンテック分野への取組み

TSUBASAアライアンスへの参加

TSUBASA金融システム高度化アライアンス



「T&Iイノベーションセンター株式会社」設立 (TSUBASA&IBM) (平成28年7月1日)

フィンテックを活用した新たなビジネスモデルを共同で検討

平成28年10月26日リリース

人工知能技術活用に向けたプロジェクトを開始

平成28年10月31日リリース

フィンテックビジネスコンテストの開催

平成28年11月7日リリース

てのひら認証決済の実証実験を開始

平成29年5月11日リリース

API共通基盤構築プロジェクトを開始

※ APIとは、Application Programming Interfaceの略。
お客様の同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組み。

主なフィンテックの取組み

FinTech (フィンテック) とは **Finance** と **Technology** の2つを併せた **IT技術を活用した金融サービス**

「マネーフォワードfor東邦銀行」取扱開始

- 家計簿の自動作成 (平成28年6月～)
- インターネットバンキングとの連携
- 東邦Always・デビットカードとの連携



ロボ・アドバイザー「ポートスター」提供開始

(平成28年8月～)

- 当行ホームページでお客さまに適した資産配分を自動的にご案内



国内外為替コンソーシアム参加

- 当行は運営幹事行。 (平成28年10月～)
- 事務局はSBIホールディングス株式会社等(参加42行)
- 新技術により24時間リアルタイムでの送金インフラ構築を目指す

「TKCモニタリング情報サービス」導入

- TKCが提供する会計ソフトを利用する (平成29年1月～)
お客様の財務データをインターネットから取得し、与信審査等に活用

スマートフォン用「ポータルアプリ」提供開始

- 簡単・便利に各種サービスを (平成29年3月～)
ご利用いただけるよう様々なサービスを本アプリに集約



「LINE Pay」への電子マネーチャージ対応

(平成29年4月～)

- 当行の口座から直接・即時にLINE Payへ電子マネーのチャージが可能に

3. 持続可能な企業体質の確立 (2) 人材育成への取組み

研修所「とうほう庭坂キャンパス」



全面リニューアル!

講堂・研修室 収容力UP
食堂・浴室・宿泊室 拡張
グラウンド、室内練習場併設

100名規模の研修・宿泊可能

東北地銀 初!

「模擬店舗」

窓口業務を実際の設備で学ぶことができる



eラーニングシステム「とうほうホームラーニング」

自宅パソコンで在宅による自己啓発業務知識の習得

休職中の職員も活用可能

登録者数 2,435名

年間 7万5千閲覧

行外研修派遣

派遣数は地方銀行トップクラス

- 地方銀行協会研修派遣
- 全国銀行協会研修派遣
- 金融財政事情研究会 FP (ファイナンシャルプランナー) 講座派遣
- 生命保険会社派遣
- 証券会社派遣
- 日本生産性本部派遣
 - ・経営コンサルタント養成講座
 - ・ダイバーシティ・マネジメント・カレッジ
- 中小企業大学校派遣
 - ・中小企業診断士養成課程
- 大学院・大学校派遣
 - ・慶應義塾大学ビジネススクール (経営幹部セミナー)
 - ・グロービス経営大学院 (エグゼクティブ・スクール/GES)
 - ・グロービス経営大学院 (マネジメント・スクール/GMS)
 - ・東洋大学大学院 (PPPスクール (注))
 - ・福島大学人文社会学群 (夜間・現代教養)
- 官公庁、一般企業等への派遣
 - ・国交省、福島県、福島市などの官公庁
 - ・3メガバンク、政府系金融機関
 - ・大手監査法人/大手税理士法人
 - ・東北観光推進機構
 - ・大手商社
 - ・大手M & A 仲介会社
 - ・大手リース会社
 - ・官民ファンド
 - ・大手不動産会社
 - ・大手シンクタンク
 - ・大手再生可能エネルギー事業会社 他

(注) PPP (Public Private Partnership : 公民連携)

3. 持続可能な企業体質の確立 (3) 多様な働き方の推進と働き方改革

多様な人材育成・多様な働き方推進 ➡ 「ダイバーシティ推進室」の設置

「仕事と家庭の両立」支援体制の拡充

職員向け保育施設「とうほう・みんなのキッズらんど」



福島市

平成26年10月 開設
累計利用者数 **25名**



郡山市

平成28年1月 開設
累計利用者数 **13名**

「イクまご休暇」

孫のための育児休業制度

累計利用者数 **20名**

全国初!



「介護休暇」

家族介護のための休暇

累計利用者数 **16名**

働き方改革

「朝型勤務」

業務効率の上がる“朝型”ヘシフト

朝 6:30から勤務可能



「フレックスタイム制」

従業員が日々の始業・終業時間を選択

・コアタイム（必須勤務時間 11:00～16:00）

「年次有給休暇取得促進」

上期/下期の連続休暇分割取得が可能となり、柔軟に
年次連続休暇が取得可能

「プレミアムフライデー」



毎月最終金曜日を含む週の1日

16:00退行推奨

「ノー残業デー」

毎月毎週水曜日と任意の1日

“生き生きリフレッシュデー”

企業表彰・受賞・認定



女性活躍推進法に基づく優良企業認定

「えるぼし」を取得

※厚生労働大臣認定 愛称「えるぼし」2段階目

女性活躍推進法に基づく行動計画の達成状況（平成29年3月末現在）

全役職者に占める女性の割合 **15.4%**（目標20%以上）

女性総合職の平均勤続年数 **5.8年**（目標15年以上）

「パートタイム労働者活躍推進企業表彰・優良賞
（雇用均等・児童家庭局長優良賞）」

12県知事による「日本創生のための将来世代応援知事同盟」
「将来世代応援企業賞」を受賞

3. 持続可能な企業体質の確立 (4) 活発なクラブ活動

「陸上競技部」「野球部」をはじめ「吹奏楽部」「合唱部」など16クラブ総勢300名が活動中



全日本実業団 女子4×100mR
大会6連覇
千葉選手：女子400m日本記録保持者
青木選手：女子4×400mR日本記録保持者



全日本実業団 女子100mH
優勝 大会新記録で敢闘賞受賞
アジアグランプリ女子100H**優勝**
紫村選手：2013世界選手権代表



陸上競技部

2016ジャパンパラ陸上競技
選手権大会
【視覚障害T13クラス】
佐藤選手：女子100m、200m、
日本新記録で優勝
佐々木選手：女子400m、**日本新**
記録で優勝



TOHOカルテット



サッカー部



合唱部・吹奏楽部



そば打ちクラブ

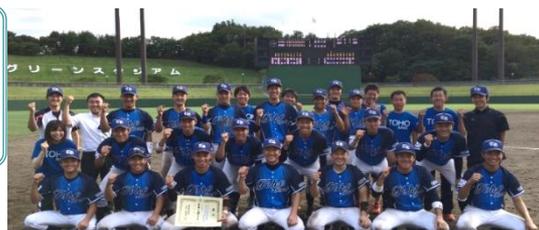


シーガルトennisクラブ



ランナースクラブ

水戸市長旗
第24回東日本選手権
福島県大会優勝
全国大会出場



野球部

「とうほう・みんなのドリーム号」



- 研修や野球部など行内クラブ活動時に活躍
- 災害時の人員・物資輸送等にも活用

3. 持続可能な企業体質の確立 (5) 障がい者が働きやすい職場づくり

株式会社 とうほうスマイル

東北・北海道地区初

ハンディキャップを持つ社員が
中心となる**100%出資特例子会社**
(平成24年3月設立)



障がい者雇用の**優良企業**として、
「**高齢・障害・求職者雇用支援
機構理事長 努力賞**」を受賞
(平成26年9月)



当行グループ全体の障がい者雇用総数 (平成29年3月1日)

62名

※「障害者雇用促進法」法定雇用率2%を充足

2016ジャパンパラ陸上競技大会 当行選手の活躍



『とうほうスマイル』の掲載記事

障害者雇用の先進事例
知事「とうほうスマイル」視察

「県も取り組み進める」

内閣府知事は10日、東
邦銀行が障害者雇用を目的
に設立した特例子会社「**とう
ほうスマイル**」(福島県)
を視察した。同社は県内の
障害者雇用のモデルケース
となっており、内閣府知事
視察後、県自身も障害者
雇用を主夫し、取り組みを
進めていくと語った。
同社は、平成24年、東北
の地方銀行として設立。現
在は障害者15人を、同社
からの委託を受け、ホス
ターや印刷物の業務を担
当している。

当7月から同行の振り
込み業務の一部を譲り負
い、業務を拡大した。
内閣府知事は、同行が
の案件で、福島市飯沼町
にある本社を視察。名刺の作
成やパソコンを使って振り
込み業務の手続きを行う職
員と話をし、同社が、障
害者雇用のモデルケース
として、取り組んでいる
ことについて、取り組
みを進めていくと語った。
同社は、平成24年、東北
の地方銀行として設立。現
在は障害者15人を、同社
からの委託を受け、ホス
ターや印刷物の業務を担
当している。

平成28年7月20日
福島民友
福島県知事来社

環境づくり
配感を感じる社内
出回りに見守る
りがある。其は障
害にさらされる
の配慮も必要と
感じている。

東邦銀行の子会社「とうほうスマイル」
特性見極め業務拡大

雇用者	障がい者	割合
1,891	184	9.7%
1,997	179	8.9%
1,993	184	9.2%
1,888	188	10.0%

障がい者雇用可能性探る

障がい者雇用可能性探る
障がい者雇用可能性探る
障がい者雇用可能性探る

障がい者雇用可能性探る
障がい者雇用可能性探る
障がい者雇用可能性探る

平成28年6月3日
河北新報
障がい者雇用特集

3. 持続可能な企業体質の確立 (6) CSR (地域貢献・社会貢献活動) の取組み

(公財) 東邦銀行教育・文化財団

文化・スポーツ活動助成事業

これまでの助成実績

助成先 **約 820 団体**

助成総額 **約 1 億円**

奨学金事業

これまでの給付実績

奨学生 **約 450 名**

給付総額 **約 2 億 6 千万円**



原郷のこけし群 西田記念館

福島市荒井字横塚 3-183 (アンナガーデン内)
開館時間 AM9:00~PM5:00

金融経済教育



とうほう親子金融教室

対象：小学生 **90名**参加

お金の大切さや使い方などについて楽しく学んでいただくために開催
(福島、郡山、会津で開催)



エコノミクス甲子園福島大会

対象：高校生

17チーム (34名) 参加
クイズ大会を通じて、金融経済の知識を深めていただくために開催



福島大学への提供講座 「地域金融論」

対象：大学生

約 **150名**受講
地域金融機関の機能と役割等に造詣を深めていただくために開催

ネーミングライツ (命名権) の取得



スポーツ活動振興

名称 **とうほう・みんなのスタジアム**
期間 平成25年5月~平成30年3月



文化活動振興

名称 **とうほう・みんなの文化センター**
期間 平成28年4月~平成33年3月

環境保全活動

とうほうみんなの森づくり

平成21年度より実施
役職員や家族による植林活動
平成28年10月いわき開催 参加者 **325名**



「福島議定書」事業で「**団体部門賞**」初受賞
電気代使用量の削減やエコキャップ収集活動が評価

3. 持続可能な企業体質の確立 (6) CSR (地域貢献・社会貢献活動) の取組み

被災地支援、地域スポーツ振興、環境保護支援への取組み



熊本地震 ボランティア活動



熊本地震 被災地への寄付



川内村マラソン ボランティア



小高地区 清掃活動



地域スポーツチームへの協賛



Jヴィレッジへの寄付



親子サッカー教室の開催



とうほうみんなの陸上教室の開催



第69回 全国植樹祭への協賛



パンダハウス(注)への寄付

東邦銀行 「愛唱歌」「応援歌」

作詞：秋元 康 作曲：三枝 成彰

愛唱歌： 愛の歌が聴こえるか？

愛の歌が聴こえるか？
風の中 どこからか・・・ 陽射しよりも暖かい
誰かの歌声よ

悲しい時 耳を澄まし 瞳閉じてごらん
胸の奥の 雨も上がる

人は人を支えてる 思いやり信じよう
この街の片隅で 希望が歌になる

愛の歌が聴こえるか？
人生の折々で・・・ 励まされた故郷（ふるさと）の
みんなの歌声よ

もしも君がしあわせなら 微笑んで歌おう
夢のような 虹が架かる

一人きりじゃないんだよ いつだってそばにいる
この街にあふれてる やさしいこのメロディー

応援歌： 我らならば

夢に向かって進め！
振り返らずに進め！
道は険しくとも 一步ずつ歩いて行（ゆ）くんだ

栄光の未来は この道の先にある
そう 合言葉は 我らならば 必ずできる

汗を拭（ぬぐ）って前へ！
何があっても前へ！
どんな高い山も 一步ずつ登って行（ゆ）くんだ

新しい夜明けは 暗闇の後に来る
さあ 合言葉は 我らならば 勝利を掴む



本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご注意ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425